

さとふる、農林水産省が創設した「農業遺産オフィシャルサポーター」に登録

～農業遺産に関連するお礼品を紹介する特集ページを公開～

さとふるの納税ポータルサイト「さとふる」(<https://www.satofull.jp/>)を運営する株式会社さとふる(本社：東京都中央区、代表取締役社長 兼 CEO：藤井 宏明)は、日本の宝である農業遺産を未来につなぐことを目的に、農業遺産に関連するお礼品を紹介する特集ページ「さとふるの伝統的な農林水産業を知る 農業遺産特集」(https://www.satofull.jp/static/special/agricultural_heritage.php)を公開しました。その取り組みが農業遺産の保全や地域の活性化に資する活動と認められ、農林水産省が試行する「農業遺産オフィシャルサポーター」に2026年2月20日付で登録されました。

■イメージ



特集ページ URL：https://www.satofull.jp/static/special/agricultural_heritage.php

農業遺産とは、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた、独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わり育まれた文化や景観、生物多様性などが一体となった農林水産業システムを認定する制度です。

株式会社さとふるは、農林水産省による農業遺産地域の活性化に資する取り組みに賛同し、オフィシャルサポーター制度(試行版)の対象となる農業遺産15件と、関連するさとふるの納税のお礼品を特集ページで紹介し、全国の農業遺産地域やお礼品の紹介を通じて、地域に根付く知恵や営みの魅力を感じてもらうことを目的としています。

株式会社さとふるは、今後もさとふるの納税を通じて地域の価値や魅力を発信し、地域活性化を推進します。

■本特集に掲載している農業遺産およびお礼品

歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」～日本で唯一、世界でも稀有な紅花生産・染色用加工システム～

[山形県最上川流域]

最上川流域では、最上川水系の肥沃な土地や豊富な水資源、霧の発生しやすい地形を活用することで、輪作と環境負荷の少ない方法で紅花を栽培し、その花びらを「紅餅」に加工する技術を継承してきました。現在も、地域の染色・観光・食品関連の事業者と連携して地域経済に貢献するとともに、紅花栽培を通じて荒廃しがちな中山間の農地を保全しています。



<掲載お礼品一例>

米沢織 紅花染め風呂敷

[山形県] 寄付金額：36,000 円

https://www.satofull.jp/products/detail.php?product_id=1364734

みなべ・田辺の梅 システム [和歌山県みなべ・田辺地域]

2015年12月、400年前から受け継がれてきた梅を中心とする持続可能な農業システム「みなべ・田辺の梅システム」が、世界農業遺産に認定されました。薪炭林を残しつつ山の斜面に梅林を整備し、梅の花の受粉にニホンミツバチを活用するとともに、里山・里地の自然環境を保全して豊かな農業生物多様性を維持している点などが、高く評価されています。



<掲載お礼品一例>

生梅ジャム(100g入2本セット)

[和歌山県田辺市] 寄付金額：10,000 円

https://www.satofull.jp/products/detail.php?product_id=1600670

はちみつ梅干し 1.2kg 紀州南高梅 和歌山県産[ご家庭用訳あり はちみつ梅]

[和歌山県みなべ町] 寄付金額：10,000 円

https://www.satofull.jp/products/detail.php?product_id=1454185

丹波篠山の黒大豆栽培～ムラが支える優良種子と家族農業～ [兵庫県丹波篠山地域]

丹波篠山の特産である黒大豆は、約 300 年前から続く人々の知恵と助け合いの中で育てられてきました。水が少ないこの地域では、稲作を行わない「犠牲田」を集落で協力して設け、水不足に対応してきた歴史があります。大豆づくりが難しい土地でも、田んぼに溝を掘り、畝を高くすることで、黒大豆が健やかに育つ環境を整えてきました。さらに、先人たちは数多くの豆の中から良い種を選び、守り育てる取り組みを進めてきました。現在も専用の畑で種を育てるなど、品質を維持する取り組みが続いています。



<掲載お礼品一例>

丹波の恵み～阪本屋のギフト～【黒豆煮詰合せ 2 本】(黒豆煮 500g×2)

[兵庫県丹波篠山市] 寄付金額：22,000 円

https://www.satofull.jp/products/detail.php?product_id=1452129

■農林水産省が展開する制度への参加事例

株式会社さとふるは、2024 年 7 月に日本の「食」に携わる官民連携の国民運動「ニッポンフードシフト」の推進パートナーに登録し、2025 年 1 月に開催された「NIPPON FOOD SHIFT FES.大阪」ではさとふるブースを出展して、環境にやさしい方法で栽培した農作物に表示される「みえるらべる」を取得したお礼品を紹介しました。



「NIPPON FOOD SHIFT FES.大阪」出展の様子

これらの取り組みに加え、2025 年 11 月に発表された「ニッポンフードシフト」の表彰制度「FOOD SHIFT セレクション」には、株式会社さとふるの代表取締役社長 兼 CEO である藤井 宏明が審査員として参加し、そのほか、農林水産省が展開するさまざまな取り組みに関連した特集ページも公開しています。

ふるさと納税 環境にやさしいお礼品特集

「みえるらべる」を取得したお礼品を紹介する特集ページ。環境への取り組みを「見える化」した農作物のお礼品を掲載し、より多くの方々に環境にやさしいお礼品を知ってもらい、選んでもらうことを目的としています。

URL:

https://www.satofull.jp/static/special/eco_friendly.php



もったいない、をおいしに！フードロス削減お礼品特集

「おいしく食べる」体験をきっかけにフードロスの現状や生産者の取り組みを知ってもらい、ふるさと納税を通じてより多くの方がフードロス削減に参加することを目的としています。

URL: <https://www.satofull.jp/static/special/foodloss.php>



■株式会社さとふるについて

株式会社さとふるは、ふるさと納税（自治体への寄付）を通して地域活性化を推進しています。「ふるさとの元気を“フル”にする、ふるさとの魅力が“フル”に集まる ふるさと応援、ふるさと納税ポータルサイト」をコンセプトに、寄付者向けに「さとふる」で寄付先の自治体やお礼品の選定、寄付の申込み、寄付金の支払いなどができるサービスを提供しています。自治体向けには寄付の募集や申込み受け付け、寄付金の収納、お礼品の在庫管理や配送など、ふるさと納税の運営に必要な業務を一括代行するサービスを提供しています。また、ふるさと納税を活用した地域活性化の取り組みを掲載する、地域情報サイト「ふるさとこづち」(<https://www.satofull.jp/koduchi/>)を運営しています。

以上

- この報道発表資料に記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- この報道発表資料に記載されている内容、製品、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。

【本件に関する問い合わせ先】

お客さまから…さとふるサポートセンター E-mail: ask@satofull.co.jp

Tel: 0570-048-325 受付時間: 午前10時～午後5時（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）